

国立天文台・天文情報センター・アーカイブ室 中桐正夫

*彗星 1970r 発見時の小島信久氏の資料収蔵

国立天文台の旧図書館の写真乾板類の整理をアーカイブ室で行っている。堂平観測所の写真乾板は大島君、その他の写真乾板は佐々木君が担当している。筆者は何処で撮影されたか不明、あるいは雑物と思われる資料の整理を引き受けている。アーカイブ室新聞 649号では本田実氏の「彗星 1968c」の資料について報告した。今回は小島信久氏の「彗星 1970r」の発見時の資料が出てきた(写真1)。



写真1 昭和46年1月5日の消印がある



封書の中の手紙によれば、原版も一緒に送ったように書かれているが、中にはプリントされた星野写真4枚、小島氏と望遠鏡の写ったプリント1枚、手紙1枚が入っていた。

小島氏と彼の望遠鏡の写真が同封されているので紹介しておこう。

4枚のプリントの裏の記録による撮影日時、エマルジョン、その日のNo. は、以下のようになっている。

- 1) 1970. 12. 28 5時15分～5時23分 TriX No. 2
- 2) 1970. 12. 30 5時05分～5時15分 TriX No. 1
- 3) 1970. 12. 30 5時46分～5時53分 TriX No. 2
- 4) 1971. 1. 2 5時32分～5時42分 FLO

この記録を見ると、乾板は1971年1月2日のFLO1

枚で3枚はフィルム TriX で撮影されている。望遠鏡は口径 31cm、f5、反射とある。年末年始の休みを利用しての観測だったことが分かる。以下にプリント4枚(写真2~5)を載せておく。

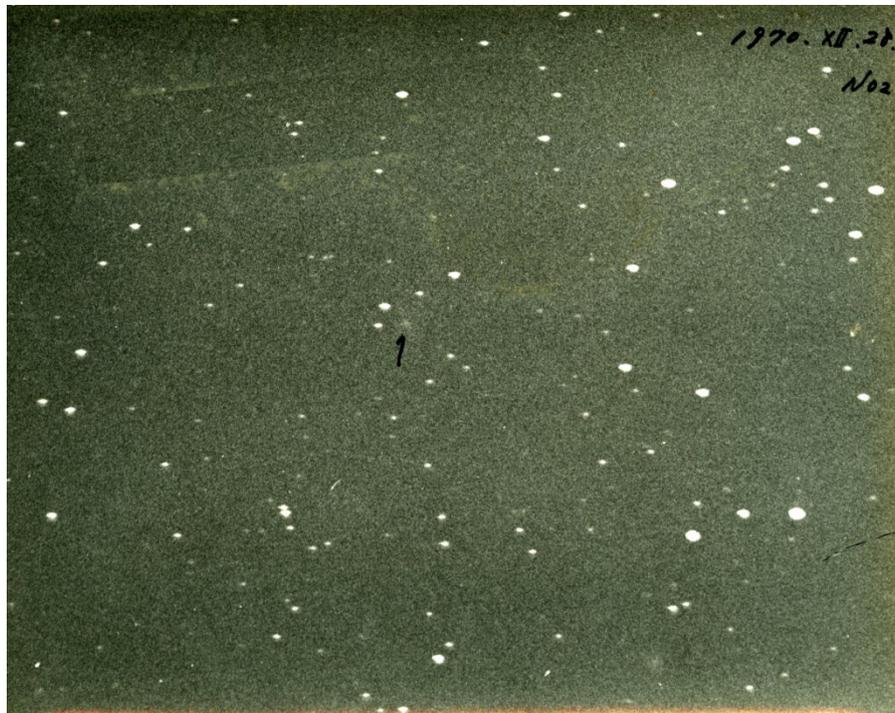


写真2 1970年12月28日撮影



写真3 1970年12月30日撮影-1

写真4 1970年12月30日撮影-2



写真5 1971年1月2日撮影

これらアーカイブ室新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp